

子育て仲間、あつまれ！



もくじ

- ・からだを動かす遊び
- ・想像する遊び
- ・創作する遊び
- ・手をつかった遊び
- ・コミュニケーションを用いる遊び
- ・コミュニケーションを用いる遊び
- +
- 遊びの会の開き方

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの あそびの レシピ

子どもの発達に着目した
遊びを紹介！



Save the Children
JAPAN

乳幼児期の

ルーラーにとられない創造性を
開花させましょう！

子どもたちはいったん創作活動を
はじめると、みんなアーティストに
変身します。

創造を通して
感情や考えを表現することを学び、
それに共感してもらう経験が
子どもを成長させます。

色をまぜ合ったり

粘土を交換したり…友だちや
養育者との協力で、
ちがう作品が生まれる経験もできます。
作品をほめ合う時間も
大切です。

Part 3

創作する遊び

遊びの提供
ARTS for HOPE のみなさん

材料には

身近なものをどんどん利用。
アイディア次第です。
養育者のみなさんが思い切り
子どもと楽しんでみると
自分も気分爽快になれますよ♪

汚れてもいい服、環境、
安心な材料を整えておけば
あとは手型をつけたり
足あとをつけたり…も、楽しむことが
できるようになります。

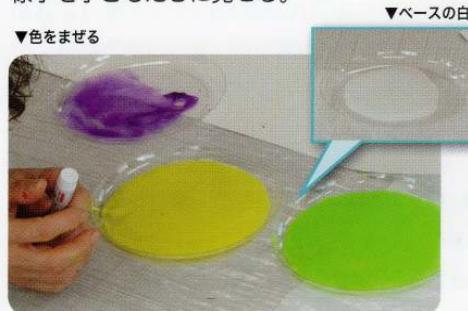
つるつるすべすべ色遊び

時間：約 30 分
年齢：1～5 歳位

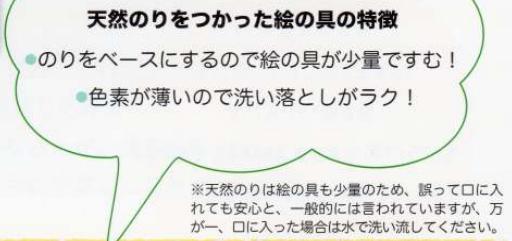
クレヨンや筆を持たずにできる絵画活動です。手をつかって描くことで、自分の動きで描かれる線、形、色のちがいに気づき、おもしろさを感じることができます。

※床の汚れ防止にシートなどをしく。 ※汚れてもよい服装で参加してもらう。

①天然のりに色をまぜて、色別に容器に移す様子を子どもたちに見せる。

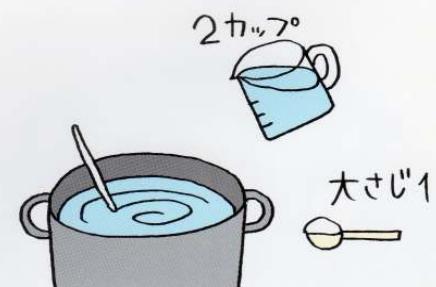


②できた絵の具を手に直接つけて、画用紙に線や形を描いて見せる。



天然のりの作り方+絵の具のまぜ方 (5～6人分)

(1) 鍋に水 2 カップを入れ、大さじ 1 のコーンスターチ（または片栗粉、小麦粉）を加える。



(2) ダマがなくなるまでしきりかきまぜてから強火にかけ、ませながら加熱する。

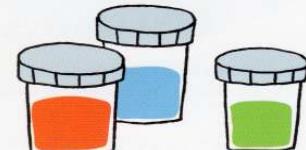
(3) 透明感が出てきたら、少し火を弱め、沸騰したらこげつかないように底からよくかきまぜる。

(4) 弱火でさらに 4 分程加熱したら、天然のりのでき上がり。

(5) ポスター色または絵の具をまぜる。

※絵の具の量は小指の先程度で十分。

※ふた付きのビンなどで 1 週間程度、保存可能。



準備物

- ★天然のり ★ポスター色（または水彩絵の具）
- ★絵の具用容器（紙皿など） ★画用紙 ★養生シート（新聞紙可）

発達の視点

自分の手を動かし、目で見ることで認識される線や色の世界や描くことの楽しさは、創造力に働きかけます。また、手にふれて感じたことを表情や言葉で表現することにつながります。

③テーブル上にセットした紙の上で、子どもたちに自由に描いてもらう。



④描けた絵を見せ合う。

⑤活動の最後に、手などについた絵の具を拭き取ったり、洗ったりする。



※ませすぎると色が濁ってしまいます。きれいな混色ができる時点で、紙を変えるとよいでしょう。

楽しむコツ

- 1歳半より前の子どもが参加する時は、テーブルだけでなく床も使用して、遊びながら参加できるように工夫するとよいでしょう。
- 描けた絵を見せ合って、拍手したり、話すことができる子どもは感想を述べたりするようにすると、完成したことの喜びやうれしさをそれぞれの子どもの年齢で感じることができます。

ふしき"はじき絵

時間：約 30 分
年齢：3～5 歳位

クレヨンで描いた絵に絵の具を塗ることによって、絵が浮きあがる「はじき絵」。絵が浮き出る不思議を目で確認し、線への気づきを促します。

※床の汚れ防止にシートなどをしく。

※汚れてもよい服装で参加してもらう。

- ①画用紙にクレヨンで自由に絵を描く。
 - ②その上に絵の具を塗ることで、クレヨンで描いた絵が浮かびあがる。



Part 3 創作する遊び

 準備物 ★クレヨン ★水彩絵の具 ★絵の具用容器（紙皿など） ★水差し
★筆 ★画用紙 ★養生シート（新聞紙可）

 発達の視点 変化を認識し、それに驚いたり、楽しんだりします。



- 1歳半より前の子どもが参加する時は、テーブルだけではなく床も使用して、遊びながら参加できるように工夫するといいでしょう。

- 白や薄い色のクレヨンをつかうことで、絵の具を塗った時に線描が鮮明に浮き上がる効果を楽しむことができます。

創作する遊び ARTS for HOPE より

0～5歳児対象の“創作する遊び”ということで、はじめての創作体験で色のちがいや配色を楽しみ、それぞれの子が自分の動きで生まれる線や形の不思議さ、おもしろさに没頭できるように誘導できる、創作遊びをご紹介しました。その体験が、創造力を豊かに育む種となることを願っています。

創造力は、無から有を生み出す無限の可能性を秘めています。それは芸術品を創造するだけでなく、建設や農業、街づくりや国づくりなど、すべてに生かされる力なのです。

創作する遊びを通して、子どもたちが豊かな人間に成長していくことを心から願っています。



ARTS for HOPE は…

東日本大震災で心に大きな負担を抱えた子どもたちを対象に、「アート」や「ものづくり」を通した心穏やかな時間と温かなコミュニケーションスペースをお届けしています。

【問い合わせ先】 Tel.03-6240-1525 artsforhope@gmail.com